



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ロイヤルホテル
 コード番号 9713 URL <http://www.rihga.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 亨
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務チーム長 (氏名) 坊傳 康真
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 06-6448-1121

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	30,599	△0.7	1,972	23.3	1,544	8.1	2,503	—
28年3月期第3四半期	30,824	△7.5	1,600	91.5	1,428	143.7	△706	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 2,560百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △621百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	24.44	15.56
28年3月期第3四半期	△6.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	66,883	13,901	20.8
28年3月期	67,354	11,341	16.8

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 13,901百万円 28年3月期 11,341百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,600	0.2	2,200	7.1	1,800	1.7	2,700	—	26.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	102,716,515 株	28年3月期	102,716,515 株
29年3月期3Q	277,922 株	28年3月期	276,282 株
29年3月期3Q	102,439,893 株	28年3月期3Q	102,447,631 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものです。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移しましたが、欧米などの今後の政治情勢への懸念が拭えないこともあり、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

ホテル業界においては、新規出店の増大等により競合環境は激化しているものの、訪日外国人数が過去最高を更新していることなどから、宿泊需要は引き続き堅調に推移しています。

こうした環境下、当社は平成28年度を初年度とする3ヶ年の中期経営計画の実現に向けて、各種施策に取り組んでまいりました。

営業面では、堅調な宿泊需要を最大限取り込み、収益機会の最大化に努めました。また、施設面では、リーガロイヤルホテル(大阪)の客室94室を改装した他、チャペルをリニューアルしました。リーガロイヤルホテル広島では、最上階のレストラン&バーを改装したことに加えて、広島市内ホテル最大級の規模を誇るチャペルをリニューアルしました。リーガロイヤルホテル京都は、改装工事により全館休業しておりましたが、昨年9月にリニューアルオープンしました。

このように収益拡大に向け様々な施策に取り組んでまいりましたが、リーガロイヤルホテル京都の改装休業に伴う運営受託料の減少や、熊本地震発生に伴う需要の落ち込み等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は、30,599百万円と前年同期比225百万円の減収となりました。

損益面では、営業利益1,972百万円(前年同期比372百万円の増)、経常利益1,544百万円(前年同期比115百万円の増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,503百万円(前年同四半期連結累計期間は親会社株主に帰属する四半期純損失706百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ471百万円減少し66,883百万円となりました。

内訳では流動資産が同782百万円増加し7,931百万円となりました。これは現金及び預金が427百万円増加したこと等によります。固定資産は同1,253百万円減少し58,951百万円となりました。これは有形固定資産が1,015百万円減少したこと等によります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,032百万円減少し52,981百万円となりました。これは借入金が1,578百万円減少したこと等によります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2,560百万円増加し13,901百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、P8(重要な後発事象)に記載のとおり、平成29年3月期第4四半期において特別利益約230百万円を計上する見込みではありますが、現時点では、平成28年11月11日に公表いたしました「業績予想値と決算値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

なお、他の要因も含めて業績予想の修正が必要と判断される場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,975	3,403
売掛金	2,290	2,528
原材料及び貯蔵品	363	584
その他	1,520	1,416
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	7,149	7,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	68,878	70,262
減価償却累計額	△53,650	△54,728
建物及び構築物（純額）	15,228	15,534
土地	28,062	27,313
リース資産	2,829	1,616
減価償却累計額	△1,266	△771
リース資産（純額）	1,563	845
その他	5,910	5,902
減価償却累計額	△4,839	△4,684
その他（純額）	1,071	1,217
有形固定資産合計	45,925	44,910
無形固定資産		
リース資産	303	242
その他	57	46
無形固定資産合計	361	288
投資その他の資産		
差入保証金	13,059	13,034
その他	860	723
貸倒引当金	△1	△7
投資その他の資産合計	13,917	13,751
固定資産合計	60,205	58,951
資産合計	67,354	66,883

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,314	1,554
短期借入金	8,516	1,658
賞与引当金	160	40
その他	4,242	4,188
流動負債合計	14,234	7,441
固定負債		
長期借入金	27,417	32,698
退職給付に係る負債	5,805	5,759
商品券回収損引当金	170	172
資産除去債務	2,018	2,035
その他	6,366	4,874
固定負債合計	41,779	45,539
負債合計	56,013	52,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,229	13,229
利益剰余金	△1,968	984
自己株式	△58	△58
株主資本合計	11,201	14,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58	36
土地再評価差額金	657	208
退職給付に係る調整累計額	△577	△498
その他の包括利益累計額合計	139	△253
純資産合計	11,341	13,901
負債純資産合計	67,354	66,883

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	30,824	30,599
売上原価	7,677	7,432
売上総利益	23,147	23,167
販売費及び一般管理費		
水道光熱費	1,812	1,673
人件費	9,607	9,984
諸経費	10,127	9,537
販売費及び一般管理費合計	21,547	21,194
営業利益	1,600	1,972
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	3	3
債務勘定整理益	11	11
その他	30	35
営業外収益合計	49	53
営業外費用		
支払利息	193	315
シンジケートローン手数料	-	132
その他	28	33
営業外費用合計	221	480
経常利益	1,428	1,544
特別利益		
受取補償金	-	418
固定資産売却益	-	349
特別利益合計	-	768
特別損失		
固定資産除却損	46	87
減損損失	1,816	36
環境対策費	3	5
訴訟関連損失	256	-
特別損失合計	2,121	129
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△692	2,183
法人税、住民税及び事業税	174	443
法人税等調整額	△160	△763
法人税等合計	13	△320
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△706	2,503
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△706	2,503

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△706	2,503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	△21
退職給付に係る調整額	58	78
その他の包括利益合計	85	56
四半期包括利益	△621	2,560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△621	2,560
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

リーガロイヤルグラン沖縄の運営委託契約の解約及びフランチャイズ契約交渉開始について

当社は、平成29年1月26日開催の経営会議において、沖縄県那覇市で運営受託しているホテル「リーガロイヤルグラン沖縄」の運営委託契約を解約し、フランチャイズ契約締結に向けて協議を開始することについて合意書を締結する決定をし、平成29年1月27日付で合意書を締結いたしました。

1. 運営委託契約の解約合意について

当社は、平成29年1月26日、当社が運営受託しているホテル「リーガロイヤルグラン沖縄」について、同ホテル運営委託者のグランホテルオペレーション株式会社（以下「GHO(株)」という。）からの申し出に応じ、平成29年3月1日付でGHO(株)のオーナーが変更されることを条件として、①運営委託契約を平成29年4月30日付で合意解約すること、②運営委託契約の合意解約後の平成29年5月以降のフランチャイズ契約締結の協議を開始することについてGHO(株)と合意書を締結することを決定し、平成29年1月27日付で合意書を締結いたしました。

この結果、GHO(株)から支払われる運営委託契約に定める中途解約に伴う違約金を平成29年3月期第4四半期において特別利益として計上する予定です。

2. 業績に与える影響について

上記のとおり、運営委託契約に定める中途解約に伴う違約金約230百万円について、平成29年3月期第4四半期において特別利益を計上する見込みであります。

なお、中途解約に伴う違約金につきましては今後の具体的な交渉により金額が変動する可能性があります。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

部門別売上実績

(単位 金額：百万円、構成比：%、増減比：%)

部 門	当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)		前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)		比 較	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増減	増減率
客 室	7,654	25.0	7,243	23.5	411	5.7
宴 会	10,504	34.3	10,777	35.0	△ 273	△ 2.5
食 堂	6,508	21.3	6,457	20.9	51	0.8
そ の 他	5,931	19.4	6,346	20.6	△ 414	△ 6.5
合 計	30,599	100.0	30,824	100.0	△ 225	△ 0.7

(注) 受注生産は行っておりません。